

Course Title 科目名	[Special Topic] Preschool Education and Care II [特殊講義] 乳児保育II			Instructor 担当者	KADOTA, Riyo 門田 理世		
Semester 学期	Spring	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2

**【Course Objectives: 授業の到達目標】**

保育環境に対する理解を深めることで、一人一人の子どもの育ちを見る目や保育実践を見る目を育み、実践的指導能力を高める。また、複雑に変化を遂げる多様性を抱える社会環境(少子化・多文化・障害児受け入れ・国際化・核家族化・共働き等)の中で、乳幼児施設に求められている社会的機能を理解する。

**【Course Summary: 授業の概要】**

本演習では、乳児期の発達、特に乳児期の遊びの発達段階に焦点をおく。いくつかの論文を精読し、保育所を中心とした保育実践を通して観察・調査を行い、乳児期の発達の特性を踏まえた遊びについて報告、意見交換をしてディスカッションを行う。また、保育実践の実際を読み解く目を培うと同時に、目まぐるしく変容する保育制度の在り方・保育者の役割についても考えてみたい。

**【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】**

本講義では「乳児保育I」で学んだ乳児保育に関する基礎知識を踏まえた更なる専門的な知識・技能の習得を図るため、事前準備を行ってからの受講が望ましい。

**【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】**

Session 1	日本の乳幼児保育現場の実情について
Session 2	乳児期の発達と遊び(論文精読): 論文の読み方・レジュメの書き方・発表の仕方
Session 3	子育てと保育について考える
Session 4	子ども、保育者、保護者が置かれている現代の保育環境について
Session 5	特別な配慮を要する子どもとその家庭と築く保育実践について
Session 6	多様な価値を抱える社会における子育て環境について(多文化・多言語・LGBTQ+等
Session 7	多様な家庭と子ども支援を踏まえた保育実践について(貧困、シングル、ヤングケアラー等)
Session 8	小括
Session 9	乳児期の発達と遊びを支える保育実践(実践観察)
Session 10	乳児期の発達と遊びを支える保育実践: 発表及び討論
Session 11	乳児期の生活を支える保育実践(実践観察もしくは論文精読)
Session 12	乳児期の生活を支える保育実践: 発表及び討論
Session 13	乳児の遊びと生活を支える保育者(討論)
Session 14	乳児期の発達と遊びと生活及び保育者を支える保育制度の在り方について(討論)

**【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】**

論文・評論などについては、授業にて配布

**【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】**

保育所指針解説書 ISBN 978-4-577-81448-2

**【Grading Criteria: 成績評価の方法】**

課題への取り組み方と発表・討論への参加姿勢(50%)  
独自の思考・感情など自己表現の仕方及びその内容・レポート(50%)

**【Note: 履修上の注意】**

実践観察(可能であれば保育施設訪問)を含む実践と理論をつなぐ演習である。実践を観察し、乳幼児教育の抱える課題を話し合うことで、乳幼児教育の実際への理解を深めたい。乳幼児教育に携わることを決意している人だけでなく、乳幼児教育に携わるかどうかを悩んでいる人も、様々な乳児保育の現状と課題について考え、実際の現状を垣間見ることで将来への方向性を確かめられたい。